

標準パネル据付説明書

PJC012D300
表面(Front face)

この面は、標準パネルの据付説明書です。下がり天井パネルの据付説明書は、裏面をご覧ください。
ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。

安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**【警告】**、**【注意】**に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**【警告】**の欄にまとめて記載しています。しかし、**【注意】**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。**【絶対に行わない】** **【必ず指示に従う】**
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方の方法など）をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼していただきます。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

警告

- 据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると、ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。
- 設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。
- オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付けは専門業者に依頼する。
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
- 改修は絶対に行わない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事を行う。
感電、故障や動作不良の原因になります。

① 据付のまえに

- ・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・右図の付属品を確認してください。

付属品

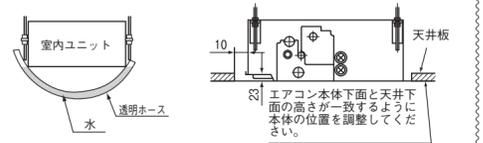
ボルト		右パネル4本、左パネル4本	パネル取付用
ねじ(M4 L=8mm)		右パネル2本、左パネル2本	チェーン取付用

② 本体の取付レベルの確認

- ・室内ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。
- ・室内ユニット本体と天井材との取付レベルを確認してください。
室内ユニット下面と天井下面が一致するように室内ユニット高さを調整してください。
(吹出し口部分は天井裏に入ります。)
- ・天井下面と室内ユニット下面との高さの差は5mm以下としてください。

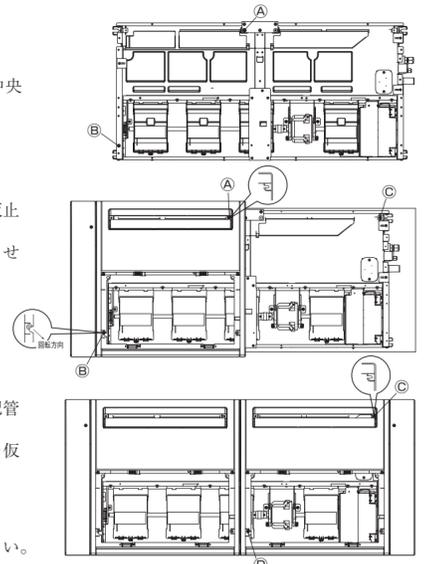
ご注意

室内ユニット本体が天井下面より下方にならないように設置してください。



③ パネル取付

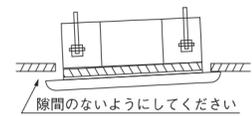
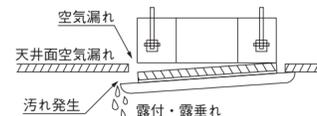
1. 左パネル付属のボルト4本のうち、2本を室内ユニットの中央吹出し側とその対角に5mm弱ねじこみます。(A●印)
2. 吸込みグリルを開け左パネルを2本のボルトにひっかけ、仮止めしてください。
仮止めは、先にA●印のボルトにパネルをひっかけ、回転させながらB●印をひっかけます。
3. 右パネル付属のボルト4本のうち、1本を室内ユニットの配管側に5mm弱ねじこみます。(C●印)
4. C●印のボルトにパネルをひっかけ、その対角(D●印)を仮締めします。
5. 右パネルと左パネルの隙間を調整しながら、仮締めしたボルト及び残りのボルト2本をしめつけてください。



ご注意

・吊りボルトの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め込んでください。

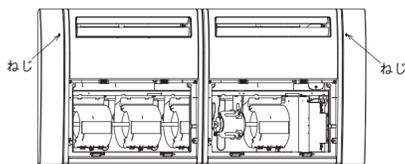
・吊りボルトを締め込んでも天井面と化粧パネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニット本体の高さを再調整してください。



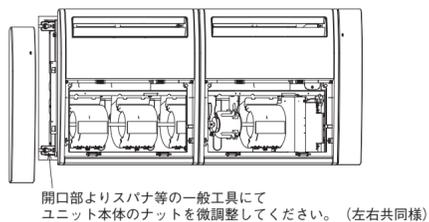
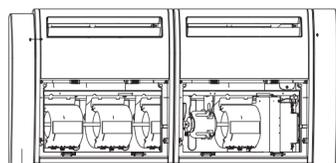
④ ユニット高さ調整方法

室内ユニット本体の水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であれば化粧パネルを取り付けたまま室内ユニット本体の据付高さを微調整できます。

1. サイドパネルのねじを取り外してください。



2. サイドパネルを後方にスライドさせ、取り外してください。(左右共同様)



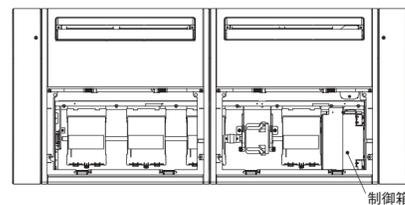
3. 据付高さ調整後は、サイドパネルを元通りに戻してください。

注意

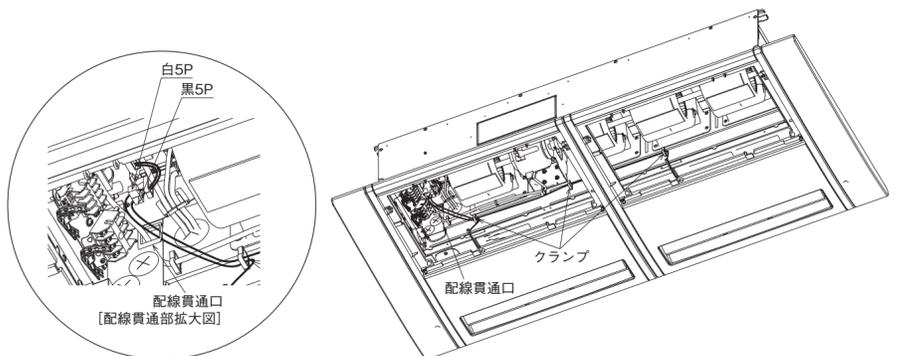
ユニット本体と天井材との高さは、パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。
パネルが変形し破損の恐れがあります。

⑤ 電気配線

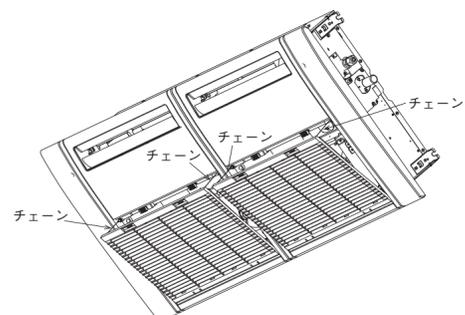
1. ねじ(2本)を外して、ユニット本体の制御箱の蓋を取り外してください。



2. ルーバモータ配線を室内ユニットのクランプに通してください。



3. 左パネルのルーバモータのコネクタ(黒5P)と右パネルのルーバモータコネクタ(白5P)を、それぞれ接続してください。
室内ユニット側のコネクタは、制御箱の中にあります。
コネクタは、色を合わせて接続してください。
4. コネクタ接続後、制御箱の配線の貫通口に、パネル側の配線を通してください。
コネクタは、制御箱内に入れてください。
5. 制御箱の蓋を閉めて、ねじ(2本)を締め付けてください。
6. 吸込みグリルについているチェーンを、パネル側にねじ(2本)で取り付けてください。
チェーンを取り付けるためのねじは、ボルトと同じ袋に入っています。



7. 吸込みグリルを閉めて完了です。

下がり天井用パネル据付説明書

裏面(Back face)

この面は、下がり天井パネルの据付説明書です。標準パネルの据付説明書は、表面をご覧ください。ユニット本体の据付説明書及び、オプションの吹出しダクト、吹出しグリルの据付説明書と共にお読みください。

安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**【注意】**、**【警告】**、に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**【注意】**の欄にまとめて記載しています。しかし、**【注意】**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる「図記号」の意味は右のとおりです。⊙ 絶対に行わない ⓪ 必ず指示に従い行う
- 据付工事後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方の方法など）をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

警告

- 据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると、ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。
- 設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。
- オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付けは専門業者に依頼する。
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事を行う。
感電、故障や動作不良の原因になります。

1 据付のまえに

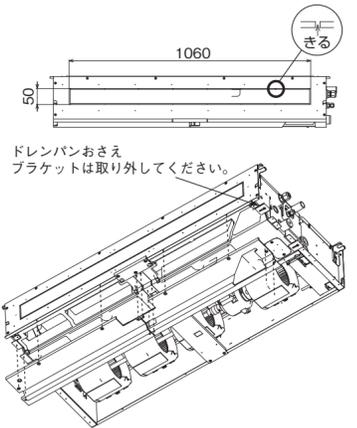
- ・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・右図の付属品を確認してください。

付属品

ボルト		右パネル4本、左パネル4本	パネル取付用
ねじ(M4 L=8mm)		右パネル2本、左パネル2本	チェーン取付用
ボトムプレート(左)		1個	
ボトムプレート(右)		1個	
ねじ(M4 L=8mm)		6本	ボトムプレート取付用

2 室内ユニットの据付準備

1. 室内ユニットの前面外側のインシュレーションのスリットに合わせて、ナイフなどで切り込みを入れます。
2. ハーフブランキング部をニッパー等で切断し、切り取ります。
3. ドレンパンを取り外してください。
4. 室内ユニット内側のインシュレーションを切り取り、穴を開けます。
5. 室内ユニット内にごみが残っていないか確認し、ドレンパンをもとにもどしてください。
6. ボトムプレート(右)(左)を付属のねじで取り付けます。
その際、吹出口横にあるドレンパン抑えブラケットは取り外してください。



3 吹出しダクト・吹出しグリルの取り付け

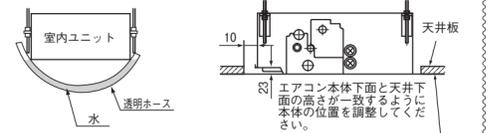
1. 吹出しダクト・吹出しグリル（オプション）に付属の据付説明書に従って、取付を行ってください。

4 本体の取付レベルの確認

- ・室内ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。
- ・室内ユニット本体と天井材との取付レベルを確認してください。
室内ユニット下面と天井面が一致するように室内ユニット高さを調整してください。
(吹出し口部分は天井裏に入ります。)
- ・天井下面と室内ユニット下面との高さの差は、5mm以下としてください。

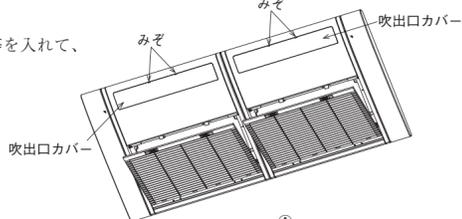
ご注意

室内ユニット本体が天井下面より下方にならないように設置してください。

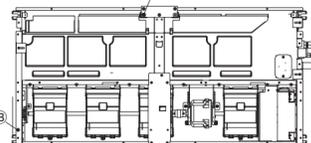


5 パネル取付

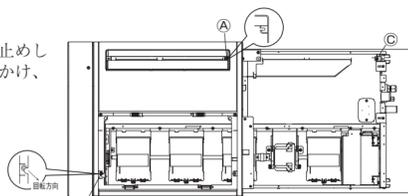
1. パネル吹出し口のカバーの溝に、マイナドライバー等を入れて、カバーをパネルから取り外してください。



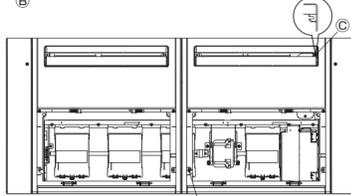
2. 左パネル付属のボルト4本のうち、2本を室内ユニットの中央吹出し側とその対角に5mm弱ねじこみます。(A●印)



3. 吸込みグリルを開け左パネルを2本のボルトにひっかけ、仮止めしてください。仮止めは、先にA●印のボルトにパネルをひっかけ、回転させながらB●印をひっかけます。



4. 右パネル付属のボルト4本のうち、1本を室内ユニットの配管側に5mm弱ねじこみます。(C●印)

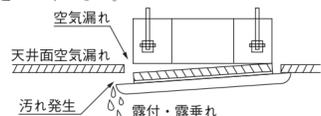


5. C●印のボルトにパネルをひっかけ、その対角(D●印)を仮締めします。

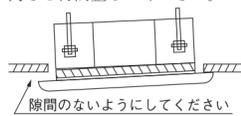
6. 右パネルと左パネルの隙間を調整しながら、仮締めしたボルト及び残りのボルト2本をしめつけてください。

ご注意

・吊りボルトの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め込んでください。



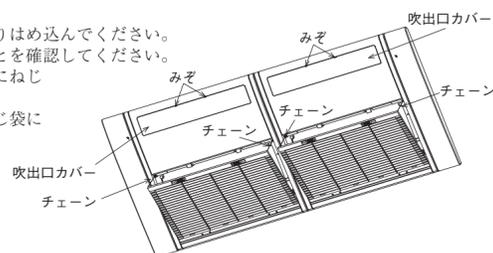
・吊りボルトを締め込んでも天井面と化粧パネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニット本体の高さを再調整してください。



7. 吸込みグリルを閉めてください。

8. 吹出し口カバーをパネル下側から押し込み、元通りはめ込んでください。
吹出し口カバーは確実にはめこみ、落下しないことを確認してください。

9. 吸込みグリルについているチェーンを、パネル側にねじ(2本)で取り付けてください。
チェーンを取り付けるためのねじは、ボルトと同じ袋に入っています。

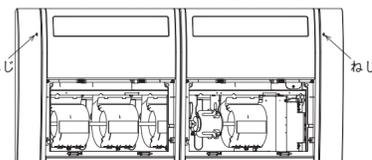


10. 吸込みグリルを閉めて完了です。

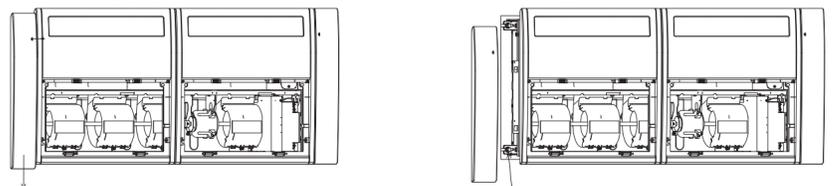
6 ユニット高さ調整方法

室内ユニット本体の水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であれば化粧パネルを取り付けたまま室内ユニット本体の据付高さを微調整できます。

1. サイドパネルのねじを取り外してください。



2. サイドパネルを後方にスライドさせ、取り外してください。(左右共同様)



後方へスライド

開口部よりスパナ等の一般工具にてユニット本体のナットを微調整してください。(左右共同様)

3. 据付高さ調整後は、サイドパネルを元通りに戻してください。

ご注意

ユニット本体と天井材との高さは、パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。パネルが変形し破損の恐れがあります。